

安全安心・教育

防災対策機能を消防局へ

問 ①平成22年度の機構改革で防災対策機能を消防局へ一元化することのことだが、どういう体制か②全庁的な危機管理を消防局で行うことのメリットは。

答 ①あらゆる人的災害、自然災害にも対応した初動体制の強化を目的としている。現在の総務局防災対策課と消防局情報指令課や警備課の指揮隊等の人員を基本に、一元化に対応した必要人員の配置を考えている。

②消防局が持っている、24時間体制、災害即応能力、情報通信体制、消防団組織の掌握などの機能を活用した初動体制の強化、情報の一元化で市民にわかりやすく、かつ今まで以上に迅速な災害対応ができると考えている。

安心な暮らしに向けた犬島の将来ビジョン

問 離島「犬島」へ対する行政としての将来ビジョンは。

答 犬島の振興計画は離島振興法に基づき策定された岡山県離島振興計画の中に位置づけられている。急速な高齢化と人口減少が進んでいる中、引き続き島民が安心して生活できる環境を維持し、住んでいる人が暮らし続けることができる地域づくりに取り組みたい。

犬島アートプロジェクトや豊かな自然環境を活かした観光振興等を図る中「犬島自然の家」の多様な利用形態により利用を促進したい。

また、行政情報や福祉・防災などの必要な行政サービスのために市職員がより幅広い役割を担い、島民が安心して暮らせるように検討したい。

AED設置状況

問 AED（自動体外式除細動器）の市有公共施設への設置の取り組みと今後の方針は。また、貸し出し事業の状況は。

答 市有施設のAEDは、平成18年度から20年度の3年間で、年間利用者が3万人以上の施設及びスポーツ施設に25台、また



正しい利用方法の啓発で早期救命を目指す

小・中学校等の教育施設に134台設置した。市全体では193台を設置しており、今後は、必要に応じ設置していく。多くの市民が参加するイベント等の担当課に貸し出しを行っており、早期救命活動に備えている。

男女が互いに助け合える環境づくり

問 岡山市DV防止基本計画策定への取り組みは。

答 DV防止法の改正を受け、

社会ニーズが反映できる基本計画を策定することとした。今まで実施していた施策などの整合性を図り、関係機関や民間支援団体などからの意見を基に新たな施策を加え、総合的・一体的に推進していく体制を構築することが計画策定の意義だ。現在、計画素案についてのパブリックコメントを実施している。

幅広く意見を聴き、実効性のある成案を取りまとめ、配偶者・パートナーからの暴力を根絶し、男女が互いに助け合える環境づくりを進める。

過大規模校への対応

問 マンションが増加してマンモス化した西小学校や御南小学校の実態を把握しているのか。また、その対応は。

答 普通学級が31学級以上の小・中学校を過大規模校としており、平成21年度は西小学校、幡多小学校と芥子山小学校が該当するが、中学校にはない。

幡多小学校、芥子山小学校ではピークを越えたと考えているが、西小学校は微増となっている。マンション開発に伴う児童数の増加を正確に予想することは困難だが、西小学校については教室の増築で対応できると考えている。

確実な将来予測が困難であるため、教室が不足する場合はまず余裕教室を活用し、次にプレハブ教室の設置、そして教室の増築を基本に段階的に対応したい。